

学 位 論 文 の 要 旨

氏 名 谷口 かおり

学 位 論 文 名

農業従事者を対象としたコロナ禍のストレスと Sense of Coherence に関する疫学研究

論 文 内 容 の 要 旨

COVID-19 のパンデミックは、健康危機のみならず、社会経済や生活様式に深刻な変化をもたらし、多くの人々に精神的健康の悪影響を及ぼした。農業従事者は、コロナ禍による人手不足や収入減少といった社会的影響を受けていることが報告されており、生活行動の変容においてもストレスフルな状況に直面している懸念がある。特に他産業に比べ高齢化や担い手不足が深刻化している農業従事者のメンタルヘルスの支援は重要な課題である。SOC（首尾一貫感覚）は、健康を保つための重要なストレス対処能力であり、SOC が高い人ほどストレス状況に適応しやすく、心理的健康が保たれやすいとされている。特に、SOC が高いと不安や抑うつが少なく、幸福感が高いことが確認されている。農業従事者の健康を守り、持続可能な農業の実現を目指すためには、コロナ禍におけるストレスと SOC の関連を明らかにし、SOC 向上を図る支援策が求められる。

本研究は、農業従事者のコロナ禍のストレス要因と、メンタルヘルスの変動に対する首尾一貫感覚（SOC）の役割を明らかにするための観察研究である。JA 島根厚生連が実施する担い手ドック受診者で研究に同意した 370 名を調査対象とし、自記式質問紙によるアンケート調査により実施した。調査項目には、農業従事の有無・頻度、コロナ禍における生活上の不安やストレス、主観的健康観、伝達のヘルスリテラシー、K6 スコア（メンタルヘルス指標）、SOC-13（首尾一貫感覚尺度）、および JA 島根厚生連から提供される年齢・性別・BMI・既往歴・服薬歴・生活習慣に関するデータ（身体活動、歩行速度、食事、喫煙・飲酒等）と血圧・血液データが含まれる。分析方法は、2019 年の K6 得点と 2022 年の得点の差を算出し、コロナ禍以前のストレスと現在のストレスの変化を評価する。また、SOC、主観的健康観、ヘルスリテラシーとストレス状態との関連性を調べるため、相関分析および多変量解析を行い、さらに SOC とストレス状態および各ストレス要因の関連をパス解析により検証する。なお、本研究計画書は島根大学医学部看護研究倫理委員会の承認を得て実施している。

2022 年の K6 スコアは 2019 年に比べて有意に上昇し、特に 30～69 歳の年代で顕著であることが示された。年代別では 20～39 歳の若年層で SOC スコアが全体平均より低く、メンタルヘルスの悪化に対してより脆弱であることが示唆され、COVID-19 が特に社会的・経済的責任の多い中年層やメンタルヘルスが不安定な若年層において顕著な影響を及ぼしていることが確認された。SOC が高い人は、パンデミック中のストレスや不安に対して保護的な役割を果たし、特に「自分や家族が感染する不安」や「外食や飲みに行けないこと」に対するストレスに対して有意な緩衝効果があることが確認された。

学 位 論 文 の 要 旨

氏 名 谷口 かおり

学 位 論 文 名

農業従事者を対象としたコロナ禍のストレスと Sense of Coherence に関する疫学研究

論 文 内 容 の 要 旨

SOCが高いと、感染に関する不安が低減し、社会的孤立や経済的不安といったストレス要因の影響が小さくなり、メンタルヘルスの安定に寄与することが明らかになった。また、SOCが高いと主観的健康観やヘルスリテラシーにも影響を与え、健康状態を良好と認識しやすくなることが示唆された。ただし、ヘルスリテラシーに対する影響は限定的であり、COVID-19 関連の情報取得が制限されていたことで不安が増幅し、農業従事者においてもストレスが高まった可能性がある。

構造方程式モデル（SEM）を用いた分析では、SOCがK6スコアの変動に対して直接および間接的に保護的な役割を果たしていることが示された。SOCが高いほどメンタルヘルスの変動が抑えられ、SOCから主観的健康観を介してメンタルヘルスに影響を及ぼす経路も確認された。これにより、SOCが高いと主観的健康観が高まり、ストレス耐性が向上する可能性が示唆された。一方で、ヘルスリテラシーのSOCおよびK6スコアへの影響は限定的であったことから、COVID-19のような不安定な状況ではヘルスリテラシーの有効性が低下し、正確な健康情報の入手が困難であったことが、不安の増加に寄与した可能性がある。

本研究は、パンデミック中の農業従事者のメンタルヘルス維持において、SOCの高さが重要な役割を果たしていることを示唆している。特に20～39歳の若年層はSOCが全体平均より低く、ストレスに対する対処能力が不足しているため、SOCを高める介入が必要であることがわかる。また、地域社会や家族の支援があることで心理的負担が軽減される一方で、医療資源へのアクセスが制限されていることがメンタルヘルスに悪影響を及ぼしていることが示唆された。こうした環境要因がメンタルヘルスに与える影響を踏まえ、農業従事者のメンタルヘルスを支援するためには、SOC向上を目的とした介入策や、地域医療資源の充実、農業従事者特有の支援策が求められる。